

4. 業績の見通し

通期の業績につきましては、平成25年10月30日に公表した業績予想を修正いたしました。

平成26年3月期の業績予想につきましては、販売電力量および売上高は、節電の影響など至近の動向を反映し、前回業績予想を修正いたしました。

また、営業損益、経常損益、当期純損益につきましては、泊発電所の発電再開時期を明確に見通すことが難しく燃料費を想定できないことから、未定としておりましたが、泊発電所の再稼働を巡る現在の状況を踏まえ、年度内停止を前提とした業績予想を算定しましたのでお知らせいたします。

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、前期に比べ、収入面では、節電の影響などによる販売電力量の減少はありますが、電気料金の値上げや燃料費調整制度の影響などにより、売上高は増収となる見通しであります。

支出面では、人件費削減などのコストダウンに努めたことに加え、海外炭火力発電所の稼働増による燃料費の減少はありますが、燃料価格上昇や泊発電所の停止影響などから、経常損益は前期同様、大幅な損失となる見通しであります。

以上により、売上高は6,330億円程度、営業損益は990億円程度の損失、経常損益は1,130億円程度の損失、当期純損益は、繰延税金資産を計上した影響などから770億円程度の損失となる見通しであります。

平成26年3月期の期末配当予想につきましては、これまで未定としておりましたが、通期の業績予想が極めて厳しい状況であることから、期末配当につきましては、誠に申し訳なく存じますが、実施を見送らせていただく予定です。

○ 連結業績見通し

26年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	633,000	△ 6,000	50,000
営業損益	△ 99,000	—	17,000
経常損益	△ 113,000	—	15,000
当期純損益	△ 77,000	—	55,000
(対前期増減率)	(△ 1.1%程度)		
販売電力量	308億kWh程度	△ 4億kWh程度	△ 4億kWh程度

(注) 営業損益、経常損益、当期純損益欄の△は、損失を示しております。

○ 単独業績見通し

26年3月期単独業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	608,000	△ 6,000	49,000
営業損益	△ 102,000	—	18,000
経常損益	△ 116,000	—	2,000
当期純損益	△ 78,000	—	42,000

(注) 営業損益、経常損益、当期純損益欄の△は、損失を示しております。

※ 対前回増減は、平成25年10月30日に公表した業績予想との差を記載しております。

※ 通期の為替レートは100円/\$程度(1月以降105円/\$程度)、原油CIF価格は110\$/b1程度(1月以降110\$/b1程度)として想定しております。